



みわを元気に

三和地域協議会ニュース 第16号 平成29年12月7日発行

三和地域の人口・世帯数
男 1,664人
女 1,741人
合計 3,405人
世帯数 1,706世帯
(平成29年10月末現在)

発行：三和地域協議会
編集：広報編集委員会

みわ子育て講演会
楽しく遊んで触れあって
うちの子、最高！
～子どもたちへ伝えたい！
親として、おとなとして、地域として～

12/17
(日)

10:00～11:30
開場9:30

三和荘
多目的ホール
入場無料

三和地域協議会では、今年もみわ子育て講演会を開催します。講師には、子育てアドバイザー、幼児教育・家庭教育専門家として有名な熊丸みつ子さんをお迎えし、講演会と、新聞紙などを使った楽しい遊びを予定しています。ご家族お揃いで、ぜひご来場ください。



講師 熊丸みつ子さん
《プロフィール》

1992年から福岡で幼児教育専門家として、講師活動に入る。現在、全国の子育て教室、母親学級で親子あそびや講演活動をし、幼稚園、保育園、小・中・高校の教師研修会講師や保護者向け講演会、地域子育て支援講座講演講師を務める。

みわふれあいカフェ
お礼とお知らせ

今年もみわふれあいカフェにお越しくださりありがとうございました。みわふれあいカフェは、12月から3月までお休みさせていただきます。また、来年の春にお会いしましょう。おいしい飲み物と素敵な企画を用意してみなさまのお越しをスタッフ一同お待ちしております。

来年は4月3日
オープン予定です。



今年もさわやかな秋晴れの中、三和ふれあいフェスティバルが11月11・12日に三和荘周辺で開催され、約4500人(主催者発表)が楽しいひとときを過ごしました。

昨年同様、丹波・みわコトおし協議会主催の軽トラ市も同時開催で当日は19台が出店し、模擬店ではぜんざい、猪肉の焼肉、松茸めし、農産加工品などのブースが並び、大勢の人でにぎわいました。

体育館では、地元の文化協会や公民館、老人クラブ、小中学校などの団体の作品の展示を、たくさんの方が熱心に鑑賞され、ホールでは、町内の各種サークルや和太鼓、ハーモニカ、大正琴、詩吟、安来節、よさこい、ダ



大盛況だった模擬店



オープニングはよさこい



生花・水墨画とコラボの詩吟



迫力の和太鼓club“響”



細見小生徒の元気いっぱい作品



フィナーレは三和音頭



個性豊かな生花の数々



司会初挑戦にみんなドキドキ

今年もまた、三和ふれあいフェスティバルが11月11・12日に三和荘周辺で開催され、約4500人(主催者発表)が楽しいひとときを過ごしました。

昨年同様、丹波・みわコトおし協議会主催の軽トラ市も同時開催で当日は19台が出店し、模擬店ではぜんざい、猪肉の焼肉、松茸めし、農産加工品などのブースが並び、大勢の人でにぎわいました。

体育館では、地元の文化協会や公民館、老人クラブ、小中学校などの団体の作品の展示を、たくさんの方が熱心に鑑賞され、ホールでは、町内の各種サークルや和太鼓、ハーモニカ、大正琴、詩吟、安来節、よさこい、ダ



ニコニコ笑顔の接客

今年もまた、三和ふれあいフェスティバルが11月11・12日に三和荘周辺で開催され、約4500人(主催者発表)が楽しいひとときを過ごしました。

昨年同様、丹波・みわコトおし協議会主催の軽トラ市も同時開催で当日は19台が出店し、模擬店ではぜんざい、猪肉の焼肉、松茸めし、農産加工品などのブースが並び、大勢の人でにぎわいました。

体育館では、地元の文化協会や公民館、老人クラブ、小中学校などの団体の作品の展示を、たくさんの方が熱心に鑑賞され、ホールでは、町内の各種サークルや和太鼓、ハーモニカ、大正琴、詩吟、安来節、よさこい、ダ



法被を着てお手伝い

外出を豊かに



有償運送
運営委員長
後藤 定司

府内で3番目の住民タクシーは雨の中でスタートした平成29年の10月2日。雨降って地固まる。新しい事業が実り育つ、慈雨になつてほしい。そんな思いを乗せて、三和の公共交通空白地有償運送事業は発車した。

現在の利用会員は高齢者を中心に約50人。三和地域協議会を窓口、15人の住民ドライバーと15台の車が運行を支える。

介護福祉施設での体操や診療所への通い、福知山市街に通じるJRバスへの乗り継ぎなどに利用されている。

乗客が少ない市バスの運行見直し、今回の有償運送事業の引き金になった。市バスを補完する公共交通として市の助成を得て、地域協議会が運営を担う。

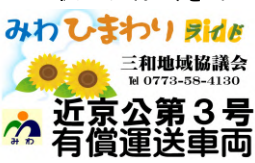
自宅から目的地をつなぐ個別輸送だが制度上、移動は三和町内限定だ。

町内での移動が増せば、ささやかでも人とモノの流れを活発にし、地元での消費は増える。

一方で、福知山や綾部市街地の病院や買い物にもっと手軽に行きたいとの高齢者の思いは強い。

様々な住民のニーズにどうこたえるか。

有償運送と市バスとのすみ分け、JRバスとの連携などに加え、一部自治会で実施されている市街地への買い物バス運行なども交えて、お年寄りの外出がより便利で楽しく、そして豊かになるよう取り組みめればと思う。



福知山観光協会・三和支部の現状と今後

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社 福知山地域本部
三和支部長 大槻昭則

三和地域協議会の広報「みわを元気に」の紙面をお借りし、観光協会会員並びに地域の皆様へ（元）福知山観光協会・三和支部から現在の観光協会の変遷と現状をお知らせいたします。

皆様は、「海の京都」という言葉を目や耳にされたことがあるでしょうか？

観光事業（産業）は現在の情報社会の中では、もはや一つの市での情報発信は広大なエリアへの発信となり、資金的にも人材的にも対応が不可能な状況になっていきます。

少子高齢化する日本社会において、外貨の獲得なくして社会が成り立たなくなっている現状は多くの皆様がお気づきのとおりです。

観光客の主体は国内から外国へと移行され、どこかの観光地へ行っても「外国語」が日本語を席巻し、完全に超越している現状があります。

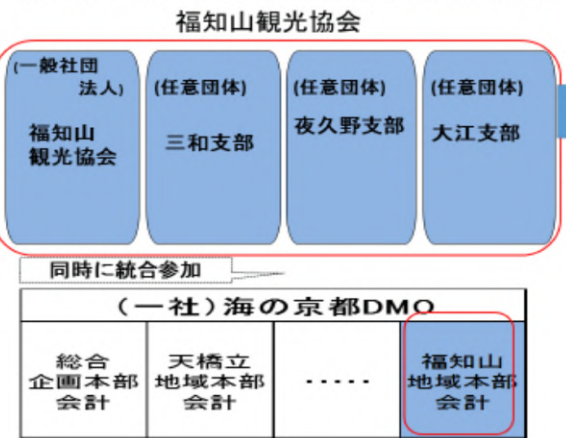
福知山市周囲に海がない等の理由から最後の参加となったのですが、周

辺から孤立しての活動・

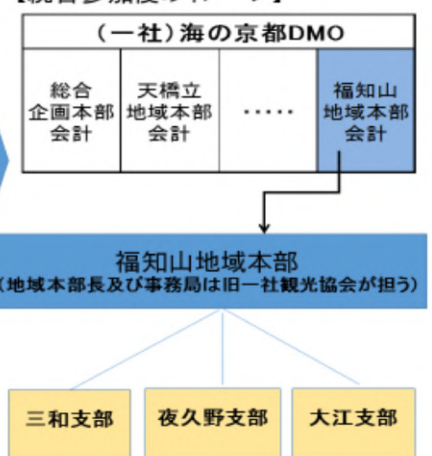
にも勧めてみる」などの感想を寄せていただいています。

とはいえ、平均すると1日の利用者数は1〜2人程度で、目標である1日3〜5人には届いていません。さらに、住民の皆さんに知っていただき利用拡大を図っていきたく考えています。

4観光協会が同時に海の京都DMOに
統合参画（DMOと各団体がそれぞれ事業譲渡契約締結）



【統合参加後のイメージ】



会場内を盛り上げた皿回し

去る11月19日、菟原下一公民館で「区民演芸大会」が開催されました。



子どもたちの歌と楽器演奏

菟原下一にて
区民演芸大会が開催されました

太鼓演奏・皿回し・大正琴・マジック・詩吟・小品・安来節などを披露し、小中学生8人は合唱と、ピアノとチェロに合わせた合奏、またダンスなど練習の成果を発表し、地域の方たちが親睦を深めた楽しい一日になりました。

編集後記

今年のカレンダーがもう最後のページとなってしまうました。（早すぎる・・・）クリスマスに、年賀状に、お正月のお節の準備にと、いろいろ考えているうちにアツという間に年越しを迎え、新しい年になっているんだなあ・・・今年も三和地域のみならずには大変お世話になりました。さまざまな行事やイベントにご協力・ご尽力いただき本当にありがとうございました。

去る10月2日にスタートした、三和地域協議会が実施する公共交通空白地有償運送事業（愛称：みわひまわりライド）の利用者が、順調に伸びています。旧三和町内ならどこにでも、自分の都合のよい時間に移動できる手段として、地域住民の皆さんの理解が進んでいると考えています。

みわひまわりライド 会員登録・利用申込みも順調！

利用者登録をいただいたのは、11月末現在で47人。そのうち女性が約85%を占めています。従来は単車を利用していた人や、車の免許証を返納した人が多く、これから運転できなくなったときに備えてという方もおられます。主な行き先は診療所（歯科含む）、三和荘、三和会館、市役所三和支所、JAのくにや、その他の施設です。バスの乗り継ぎ利用もありました。目的は医療受診、健康体操、行事参加などが主なもので、当初想定していた内容となっています。

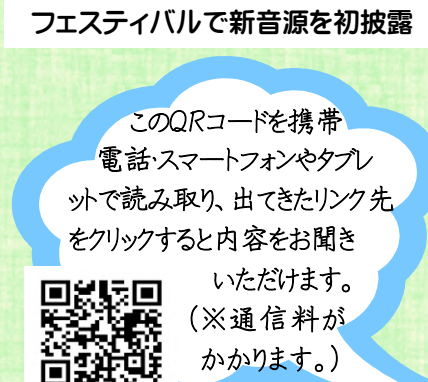


みわひまわりライド号

三和音頭音源完成＆ラジオで流しました！

前号で録音の様子をお知らせしました「三和音頭」の新音源CDが、ついに完成しました！先日開催の「三和ふれあいフェスティバル」では、踊りと共に初披露し、旧川合小学校で開催されている日本語学校の生徒さんたちも参加され、多くの方に踊っていただきました。

フェスティバルで新音源を初披露



フェスティバルで新音源を初披露

このQRコードを携帯電話・スマートフォンやタブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると内容をお聞きいただけます。（※通信料がかかります。）

